

仕事と家庭の両立支援に向けた課題について（総論）

現状（実態）	課題と考えられる事項（総論）
<p>◇仕事と育児の両立</p> <p>○ 育児休業取得前に約7割の女性が退職している。</p> <p>○ 男性の育児休業取得率が1%に満たない。</p>	<p>◇ 女性の7割が継続就業できていない現状、男性の育児休業の取得が進んでいない現状に対し、どのような施策が必要とされているか。</p> <p>（両立支援制度自体について考えられる課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 制度メニューはある程度整備されているのに、現実にはきめ細かなニーズに対応しきれていない（きめ細かなニーズとして考えられる例） <ul style="list-style-type: none"> * 復帰後のフルタイム勤務は体力的に困難 * 育児休業取得は経済的に困難 等 ・ 対象とする子の年齢は適当か ・ 男性の利用を促す制度設計とはなっていない ・ 期間雇用者が利用しやすくなっているか <p>（制度の運用について考えられる課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 育児休業を取得できること等の両立支援制度が周知されていない ・ 復帰後の処遇が公正になされているか <p>（職場の雰囲気などの環境について考えられる課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性が継続就業していない、男性が制度を利用していない等により、利用しづらい雰囲気が再生産されている可能性
<p>◇仕事と介護の両立</p> <p>○ 介護休業の利用率は1%に満たず、一日単位での年休等が利用されている。</p>	<p>◇仕事と介護の両立のためのどのような施策が必要か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長期の休業よりも一日単位での休暇の必要性が高い ・ 休暇ではなく労働時間の調整等を要する場合もある
<p>◇その他の課題</p>	<p>◇育児・介護目的に限らず、長時間労働の是正などによる仕事と生活の調和の実現が重要</p>